

2013年3月2日(土)  
PM3:00~梅ヶ丘GALA

※終了後懇親会あり

[話し手]  
**橋爪太作** (社会学研究者)

1960年代後半のカウンター・カルチャー運動は、近代の矛盾が極限に達したアメリカ合州国に端を發し、瞬く間に世界中に波及した。高度経済成長にひた走る日本でも、多くの若者が都市を捨て、人里離れた辺境に自分たちの理想社会をつくろうとした。彼らの一部はトカラ列島諏訪之瀬島にたどり着き、そこに「パンヤン・アシュラム」なるコミュニオンを築いた。それは、神の共同体を求めて新大陸を目指した初期近代清教徒たちの情熱が突如甦ったが如き、〈超越〉を目指すユートピア運動であった。

だが当初の希望と熱狂が退き、集団的防壁としてのコミュニオンが解体していったとき、あくまで諏訪之瀬島にとどまることを選んだ彼ら彼女らは、「島」をして「近代」とまともに向き合うことを余儀なくされた……。

今回のトカラ塾では、スワノセコミュニオンの発生と終焉、そして現在に至る諏訪之瀬島の歴史をお話しし、さらに可能ならばそれらが現在の私たちにいかなる意味を持つのかということも考えたいと思う。

未熟な夢は、産み落とされたまま砂にまみれて転がるしかない。けれども、現実に向き合った夢がどんなに無残な傷まみれになろうとも、夢が夢として生きている限り、それは微力ではあっても無力ではない。夢の残骸のなかには必ず未来へ向かう希望が含まれてるからこそ、私たちは過去を過去として認識することができるのではなからうか。

根  
を  
持  
つ  
た

翼  
た  
ち

諏訪之瀬島と日本のカウンター・カルチャー運動

第16回  
南島らいぶ  
トーク

会費 カンパ制 (任意)

場所 ギャラリー GALA  
世田谷区梅ヶ丘 1-26-5-2F (小田急線梅ヶ丘駅南口徒歩1分)  
<http://www.apto/~gala/>

参加  
連絡 090-4713-1299 (稲垣一雄)  
080-5085-2477 (橋爪太作)  
[info@tokarajuku.sakura.nc.jp](mailto:info@tokarajuku.sakura.nc.jp)

主催 文化結社トカラ塾 (<http://www.tokarajuku.sakura.nc.jp/>)

